

図書館だより

発行：千葉市図書館 <https://www.library.city.chiba.jp/>
 千葉市中央図書館 〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7
 ☎043-287-3980 移動図書館 ☎043-287-3983

内容【1面】千葉市開府900年

【2面】図書館内の拾得物について／

ビブリオバトルへの参加／お楽しみ袋

みやこ図書館	043-233-8333
白旗分館	043-264-8566
花見川図書館	043-250-2851
花見川団地分館	043-250-5111
みずほハスの花図書館	043-275-6330
稲毛図書館	043-254-1845
若葉図書館	043-237-9361
西都賀分館	043-254-8681
泉分館	043-228-2982
緑図書館	043-293-5080
あすみが丘分館	043-295-0200
土気図書室	043-294-1666
美浜図書館	043-277-3003
打瀬分館	043-272-4646

千葉開府900年



2026年、千葉市は、まちが開かれてから900年の大きな節目を迎え、さまざまな記念事業が行われています。

1126年6月1日、千葉常重が現在の緑区大椎町から中央区亥鼻付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗り、千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

そこで今回は、千葉氏に関連する地域資料を3冊紹介いたします。

千葉一族入門事典 二〇一六年

千葉氏サミット実行委員会／編

啓文社書房

千葉一族の歴史と人物、文化や祭宗教など、わかりやすく解説した入門書です。千葉開府900年を迎えた年に発行されました。

特に「人物名鑑」では、千葉一族の他に、千葉氏に関わった有名武将や千葉氏の血を引く有名人物も詳しく紹介しています。

千葉氏入門Q&A 二〇一九年

千葉市立郷土博物館／編集・発行

以前、郷土博物館で開催した、展示パネルの内容をまとめたものです。

24件の質問と回答を、わかりやすく紹介しています。

「千葉氏ってなに?」をはじめ、家紋や領地、妙見、千葉常胤についてなど、写真や図も多く、巻頭に千葉氏年表や千葉氏系図を掲載しています。

千葉一族の歴史 二〇二二年

鈴木 佐／編著 戎光祥出版

全国各地で活躍した千葉一族について歴史をはじめ妙見信仰や文化・史跡など網羅的に掲載しています。

特に「千葉県内に残る足跡を訪ねて」では、一族の本拠地・千葉市や、千葉氏本流に近い、臼井一族の佐倉市・印旛郡など、地域ごとに千葉氏に関する寺社や墓所、城跡、仏像などを

わかりやすく紹介しています。

紙の地域資料の他にデジタルで、千葉市図書館ホームページ ↓ デジタルアーカイブ ↓ 地域資料をクリックすると「千葉大系図」「妙見信仰調査報告書」が閲覧できます。

また、デジタルアーカイブ ↓ 千葉市オーラルヒストリーをクリックすると、令和4年発行の中に「千葉氏顕彰会編」など、千葉氏関連資料が閲覧できます。

「千葉大系図」は、千葉氏の略歴をはじめ、桓武天皇から江戸時代中盤までの系図を掲載しています。

「妙見信仰調査報告書」は、千葉氏が崇拝した妙見信仰をはじめ、千葉市指定文化財『千葉妙見大縁起絵巻』に関連する調査等を掲載しています。

「千葉氏顕彰会編」は、会を発足した経緯や活動、千葉氏サミット開催について、今後の展望等、掲載しています。興味のある方は、ぜひご覧ください。

千葉市図書館 HP デジタルアーカイブ



図書館内の拾得物について

図書館を利用した際、忘れ物や落とし物をした経験はありませんか？

図書館では、館内で見つけられた沢山の忘れ物などを拾得物としてお預かりしています。所有者の判らない拾得物は、貴重品や現金などは警察に届け出て、遺失物法に基づく手続きを踏んで処理されることとなりますが、その他の物は、一定期間遺失者の申し出がない場合は、廃棄することとなります。

拾得物は、傘、ルーペ、筆記用具、眼鏡、帽子、マフラー、ハンドタオルなど様々ですが、まだ使用可能な物ばかりであり、廃棄するのは勿体ないですが、保管場所も限られるため、いつまでも保管しておくことはできません。

また、これらの廃棄にも費用が発生してしまうことも決して望ましいことではありません。お帰りの際には、今一度、身の回りや所持品を確認していただき、忘れ物などのないよう、お気を付けてください。

また、紛失した場所が定かでない場合でも、念のため、ご利用された図書館にお問い合わせください。



ビブリオバトルへの参加

川戸公民館主催のビブリオバトル体験会に参加しました。ビブリオバトルは、参加者同士で自分の気に入った本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う書評ゲームです。ルールは、①発表者は5分間で本を紹介、②2〜3分間でディスカッション（質問タイム）、③「どの本が一番読みたくなかったか」を投票、④一番票が多かった本がチャンプ本になる、というものです。

今回紹介したのは、『剣、花に殉ず』（木下昌輝／著）でした。豊臣から徳川の世にかけての、身分を超えた絆を描いた感動の作品です。ライブ感を楽しむ会で、事前に用意した原稿などを読むことや資料を配ることはできません。自分の体に内容を染み込ませておいたつもりでしたが、本番ではなかなか上手くいきません。

「バトル」の名称から、参加する前までは、他の参加者からの厳しい批判にさらされてしまうのではないかと不安でしたが、蓋を開けてみれば、主催者や参加者同士が相手の意見を受け入れてくれる温かい会でした。



（あすみが丘分館）

お楽しみ袋

美浜図書館と美浜図書館打瀬分館では、「お楽しみ袋」という企画展示を行っています。

お楽しみ袋は、図書館職員が選んだ本を見えないように袋に入れて展示し、袋に表示したテーマを見て借りていただく企画です。

この企画を始めたきっかけは図書館の本と利用する皆様の新たな出会いを作りたいからです。準備の際に、どうしたら手に取ってもらえるかを考えて、テーマ決めや本の選定などを終え、袋詰めして展示します。



借りた方から「こういう企画の本が読めて嬉しかった。」というお声をいただいたり、親子で楽しみながら袋を選んで借りていく姿を目にしたりし、新たな本と出会うきっかけづくりができたお手伝いを感じています。

図書館では、利用者の皆様に、より多くの本に接していただくよう、各館で様々な展示を企画しておりますので、ご来館の際は是非ご覧になってください。

